

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)明石市西新町2丁目計画 新	階数	地上14F
建設地	兵庫県 明石市	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・商業地域、準防火地域	平均居住人員	156 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,872 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2021年6月16日
敷地面積	694 m ²	作成者	OKI設計 葉山
建築面積	341 m ²	確認日	
延床面積	3,913 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
立地特性と周辺環境を活かした計画とした。	特になし。	
Q1 室内環境 1日の大半を過ごす住宅であるため、一定以上の性能を確保した。	Q2 サービス性能 メンテナンスや劣化に対する配慮を行った。	Q3 室外環境(敷地内) 適所に植栽帯を設置するなどの計画とした。
LR1 エネルギー 換気・採光と同時に断熱性能の確保に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 解体時に躯体と内装材が分別可能になっている。	LR3 敷地外環境 適切な台数の駐輪場・駐車場および車路管制機等を設置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される